

1. 実況上の着目点

- ① 高気圧が日本の東にあって、東南東に移動。全国的に高気圧縁辺からの下層暖湿気が流入し、局地的に非常に激しい雨や激しい雨を解析。西日本では雷を多数検知。また、高気圧の縁辺の東よりの風により、伊豆諸島ではうねりを伴って波が高くなっている所がある。
- ② 台風第25号がバシー海峡にあって、北西進。先島諸島では、台風からのうねりで波が高くなっている所がある。また、海上では激しい雨を解析。
- ③ 台風第24号がフィリピンの東にあって、西進。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の下層暖湿気の流入は15日も続く。また、16日朝までに九州南部付近に低気圧が発生、17日にかけて本州の南を東進。下層暖湿気や低気圧の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴って激しい雨が降り大雨となる所がある。南西諸島と西～東日本では16日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項②の台風は16日にかけて、バシー海峡を北上する。また、1項③の台風は17日にかけて、発達しながらフィリピンの東を北西進。先島諸島では、これらの台風からのうねりで波が高くなる所がある。また、台風周辺の下層暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となり、雷を伴って強い雨の降る所がある。先島諸島では17日にかけて、うねりを伴った高波、落雷や突風、急な強い雨に注意。
- ③ 1項①の高気圧及び15日夜に沿海州付近に移動する高気圧縁辺の東よりの風の影響で、うねりを伴い波が高くなる所がある。東日本太平洋側では16日にかけて、うねりを伴った高波に注意。
- ④ 500hPa トラフに対応して、低気圧が16日夜までに沿海州付近で発生し、前線を伴って発達しながら17日にはオホーツク海へ進む。前線や低気圧に向かって下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴って激しい雨が降り大雨となる所がある。また、前線や低気圧周辺では気圧の傾きが大きくなり、風が強くなり、波が高くなりしけとなる所がある。西～北日本では17日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、強風や高波、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本。量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(06時からの24時間)：九州南部・奄美 120mm。
- ② 波浪(明日まで)：沖縄 3m。
- ③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。南西諸島と西～東日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。